

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-156		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 世界史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	41	8 - 11	こうした国際商業の担い手は、中国人・日本人・ポルトガル人・オランダ人などの商人団であり、彼らの活発な活動に押されて、明政府も貿易制限をゆるめざるをえなかった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (貿易制限時の国際商業の担い手)	3-(3)
2	68	下右図	「18世紀半ばのヨーロッパ」	生徒にとって理解し難い図である。 (プロイセン王国の領域)	3-(3)
3	98	22	西部を背景とするジャクソンの民主党	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (民主党の背景)	3-(3)
4	103	31 - 34	フランス革命のさなか、ナポレオンのフランス軍はエジプトを占領し(1797～1801年)、イスラーム世界に大きな衝撃を与えた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (年次)	3-(3)
5	167	19 - 21	41年4月には、ドイツからの対ソ攻撃要請にもかかわらず、日ソ中立条約を結んで北方の安全確保をはかった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日ソ中立条約締結に至る過程)	3-(3)
6	206	6 - 8	また10年には、かつて加盟国での批准に失敗した超国家主義的な憲法条約にかえて、これからのEJの基本的あり方を定めたりスポン条約が各国に批准され発効した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (年次)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 27-157		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 世界史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	10	2 - 5	アフリカに生息していた人類の祖先となるグループが……他の類人猿と区別される特徴を発達させていった(猿人)。やがて、彼らは200万～150万年前にはアフリカ大陸から出て	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (出アフリカの人類)	3-(3)
2	14	1 - 3	東アジアでは前7500年ころ、黄河流域でアワ・キビ、長江流域でイネの栽培を中心とする農耕文明がうまれた。	相互に矛盾している。 (187ページの年表には、前「6000頃黄河・長江流域で農耕開始」とある。)	3-(1)
3	20	囲み	「平氏と宋銭」中、「平氏をほろぼした源氏は宋銭の使用を禁止した」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (宋銭の使用を禁止した主体)	3-(3)
4	21	囲み	「チンギス=ハン」中、「金を圧倒した後、中央アジアの西遼、イランの新興勢力であるホラズム=シャー国、西夏をほろぼし」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (チンギス=ハンのはろぼした国)	3-(3)
5	23	囲み	「元寇と日元貿易」中、「禅宗(臨済宗・曹洞宗)が伝来し」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (禅宗の伝来時期)	3-(3)
6	37	6 - 8	一部のムスリムは、ムハンマドの一族のみが指導者を出すことができると主張し、カリフたちを認めなかった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「一部のムスリム」の主張内容)	3-(3)
7	53	図	「アフリカ大陸」中、「ザンジバル」	生徒が誤解するおそれのある図である。 (首都の表示)	3-(3)
8	77	上囲み	「東インド会社」中、「フランスも1664年に東インド会社を設立した。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (フランス東インド会社の沿革)	3-(3)
9	77	下囲み	琉球を介して中国と	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (四つの口)	3-(3)
10	77	下図	「日本からみた外交秩序」	生徒にとって理解し難い図である。 (四つの口)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 27-157		学校 高等学校		教科 地理歴史		種目 世界史A		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	83	囲み	「コーヒーハウスとエドワード=ロイド」中、「エドワード=ロイド(?~1730ころ)」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (生没年)	3-(3)				
12	91	表	「ナポレオンの活動」中、「1805年」の「ロシア軍・オーストリア軍・プロイセン軍を破り(アウステルリッツの三帝会戦)」	生徒にとって理解し難い表現である。 (三帝会戦に参戦した軍)	3-(3)				
13	112	側注1	行商(特許商人の組合)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (行商の意味)	3-(3)				
14	130	囲み	キーパーソン「孫文」中、「ハワイで医学を学んだ。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (孫文が医学を学んだ場所)	3-(3)				
15	158	上左図	「国際連合の機構」中、「信託統治理事会」の説明「1994年に……バラオが自治を達成したあとは、非植民地特別部会として活動」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (信託統治理事会の活動)	3-(3)				
16	161	17 - 19	フランスや西ドイツは急激な成長をとげた。また、両国とベネルクス3国によって、1958年にヨーロッパ経済共同体(EEC)が結成された。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ヨーロッパ経済共同体の構成国)	3-(3)				
17	165	20 - 21	スターリン批判に対する共産党内の反発によりフルシチョフが解任され	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (フルシチョフ解任の理由)	3-(3)				
18	173	16	湾岸戦争(1990~91) 172ページの表「イスラエルの歩み」中、「1990~91年 湾岸戦争」も同様。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (湾岸戦争の開始時期)	3-(3)				
19	177	10 - 12	日本・フィリピン・ベトナムやインドとの領土問題には解決の見通しがたっていない。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「領土問題」)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 27-159		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 世界史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	65	写真3	「ポンペイの遺跡と壁画」中、「後76年、火山の噴火によって火山灰に埋没した。」	不正確である。 (「後76年」)	3-(1)	
2	66	写真6	「オリンピックのはじまり」中、「右の壺絵に見られる徒競走」	誤りである。 (「右の」)	3-(1)	
3	91	19 - 20	アジア貿易でも、17世紀初めに設立された東インド会社が本格的なアジア進出をはじめた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (イギリス東インド会社の設立時期)	3-(3)	
4	119	図6	「ドイツの統一」	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「1867年までのプロイセン領(北ドイツ連邦)」)	3-(3)	
5	120	14 - 17	貧しい開拓民の家に生まれた第7代ジャクソン大統領は、男性普通選挙を推進し、孤児院や精神病院をつくるなど、競争社会でおき去りにされた人々に目を向けた政治をおこなった(ジャクソン民主主義)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ジャクソン民主主義の内容)	3-(3)	
			ソン民主主義)			
6	128	図2	「ベルリン会議後のバルカン半島」中の塗色	生徒が誤解するおそれのある図である。 (オーストリア保護領)	3-(3)	
7	130	5 - 6	95年にはカリマンタン(ボルネオ)島の一部を合わせてマレー連合州として保護国化した。 同ページ図1も同様。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (マレー連合州の領域)	3-(3)	
8	141	26 - 27 右	休戦協定が結ばれ、北緯38度線を軍事境界線とし、南北の分裂が固定化	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (北緯38度線が軍事境界線であるかのように誤解する。)	3-(3)	
9	155	7 - 9	国際連盟は、総会・理事会・連盟事務局のほか、国際労働機関(ILO)、常設国際司法裁判所などの付属機関からなり、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「付属機関」)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 27-159		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 世界史A	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
10	167	15 - 16	ドイツの膨張は止まることなく、39年3月、チェコスロヴァキア全土を占領し、 同ページ年表中、「1939年 チェコス	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (チェコスロヴァキアに対する処置)	3-(3)
			ロヴァキア全土を占領」も同様。		
11	170	図1	「満州事変と長征」中、長征の終着地 171ページ年表7「中国共産党・中国国民党と日本の動き」も同様。	不正確である。 (長征の終着地)	3-(1)
12	178	中囲み	どのような体制をが	誤記である。 (「をが」)	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 27-161		学校 高等学校		教科 地理歴史		種目 世界史A		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	19	16 - 19	15世紀になると、港市国家の一つであるマラッカ王国は明に朝貢し、その保護を受けて勢力を拡大した。その後、国王がイスラームを受容して東南アジア最初のイスラーム国家になると	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (東南アジアのイスラーム化の時期)	3-(3)				
			16ページの図3「東南アジア最初のイスラーム国家であるマラッカ王国」も同様。						
2	36	図1	アルプス以北	誤記である。	3-(2)				
3	36	図3	「クノッソス宮殿の壁画」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (復元であることが分からない。)	3-(3)				
4	61	15 - 17	17世紀初頭には、イギリス、オランダ、フランスが東インド会社をおこし、ポルトガルやスペインと対抗しながらアジアに勢力をきずいていった	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (年次)	3-(3)				
5	65	図4	イスタンブル	誤記である。	3-(2)				
6	74	9 - 12	コルベールは、……いわゆる重商主義政策をおこなった。また、植民地の獲得がめざされ、東インド会社を設立するなどして通商路の拡大もなされた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (フランス東インド会社設立の年次)	3-(3)				
7	121	図5	「清をめぐる交易関係」	生徒にとって理解し難い図である。 (銀の流れが分からない。)	3-(3)				
8	124	13	1868年の明治維新	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「1868年の明治維新」)	3-(3)				
9	170	図2	アメリカ合衆国の生産は大幅に落ちこみ、失業者は1933年に1300万人にのぼった。	不正確である。 (「1300万人にのぼった」)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 27-161		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 世界史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
10	175	囲み	「フランスの極右勢力」中、「1934年2月9日に反政府暴動事件をおこした。」	不正確である。 (日付)	3-(1)
11	193	17	朝鮮半島の停戦ライン(北緯38度線)	不正確である。 (停戦ラインの位置)	3-(1)
12	207	7 - 8	1990年11月にドイツ再統一が実現された。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ドイツ再統一の時期)	3-(3)
13	210	18 - 19	タリバーンが支配するアフガニスタンに対して軍事攻撃をおこない、政治体制を変更した(アフガン戦争)。 214ページ6~7行目「アフガン戦争」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「アフガン戦争」)	3-(3)
			も同様。		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 27-162		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 世界史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	5	囲み	①「世紀や年代のあらわし方」中、「年代」の項、「キリストが生まれた年を紀元1年とし、」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (キリストの生年)	3-(3)
2	10	囲み	「アジアの音楽が古代の日本へ」中、「声明（読経と異なり旋律をつけたもの）」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (声明の説明)	3-(3)
3	12	下左図	「ウルのジググラト」中、「聖搭」	誤植である。	3-(2)
4	30	図3	「十字軍の遠征路」	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「第6回十字軍(1248～54)」と「第7回十字軍(1270)」の遠征路)	3-(3)
5	47	写真	「足利義満」中、「日本は、朝貢制度には服さず、天皇が中国の皇帝の「王」に冊封されることはなかった。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本と中国との関係)	3-(3)
6	76	3 - 5	まずしい農民の出身で、白蓮教徒を主体とした紅巾の乱の指導者であった朱元璋(洪武帝、太祖)は、元の勢力を北方に追い、1368年に明をたて、漢人王朝を復活させた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (時系列)	3-(3)
7	87	12 - 14	1641年にはオランダのみに長崎の出島での商業活動を認め、それ以外のヨーロッパ船の来航を禁じた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「鎖国」化の過程)	3-(3)
8	132	図1	「19世紀の三角貿易」	生徒にとって理解し難い図である。 (銀の流れが記されておらず、理解し難い。)	3-(3)
9	135	2 - 3	1882年、ソウルで大院君の扇動する軍隊の反乱がおき(壬午軍乱)、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「壬午軍乱」の首謀者が大院君であるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
10	162	側注1	1949年にさらにアイルランド共和国と改称して、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (国名)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 27-162		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 世界史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	186	19 - 20	イギリスは、アウン＝サンの死後までビルマに実質的な独立を認めず、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ビルマ独立前のイギリスの態度)	3-(3)
12	189	図	「第二次世界大戦後のおもなできごとと動き」中、「北朝鮮地下核実験(2010)」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (年次)	3-(3)
13	226	2 - 5 左	最新の研究によると、私たちの祖先は、気候変動などの要因によって、およそ20万年前にアフリカを出発し、世界各地にひろがったとされる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (時期)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-163		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 世界史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	2	下囲み	キリストが生まれた年を紀元1年とし	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (キリストの生年)	3-(3)
2	11	側注1	現在のところ最古とされる約700万年 前の猿人化石が、2002年、アフリカの チャド北部の砂漠で発見された。	不正確である。 (「2002年」)	3-(1)
3	30	下右図	「ワヤン＝クリ ジャワ語に翻訳した インドの叙事詩『ラーマーヤナ』や『 マハーバーラタ』などを題材として演 じる紙芝居。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「紙芝居」)	3-(3)
4	38	1 - 3	前3000年ころ、エーゲ海域のクレタ島 にオリエント文明の影響を受けた文明 が生まれ、やがてギリシア本土に伝わ った。	相互に矛盾している。 (34ページの年表には「前2000年ころ」とある。)	3-(1)
5	88	側注2	倭寇	表記が不統一である。 (同ページ8行目「倭寇」)	3-(4)
6	110	囲み	Key Person 「ジャクソン」中、「白 人男性の普通選挙権がほぼ実現するな どの民主的な改革をすすめ(ジャクソ ニアン＝デモクラシー)、民主党を結 成した。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ジャクソニアン＝デモクラシーの内容並びに民主 党の結成について誤解する。)	3-(3)
7	122	図3	「明治初期の領域画定」の凡例中、「 1854年の日露国境(樺太は両国雑居) 」	不正確である。 (年次)	3-(1)
8	140	側注1	1937年に完全独立を達成してエールと 改称。さらに1949年にアイルランド共 和国と改称した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「アイルランド共和国」)	3-(3)
9	157	図4	「フィリピンでの日本語教育(1942年)」中、「日本は、植民地化した各地 で日本語教育を実施した。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (フィリピンが日本の植民地であったかのように誤 解する。)	3-(3)
10	181	図5	「広島における平和祈念式典」 「毎年その日に平和祈念式典がひらか れ」	誤記である。 (「祈念」)	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-170		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 世界史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	27	図3	「始皇帝」中、「王にかわって皇帝という新たな称号をつくり、始皇帝と名乗った。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「始皇帝と名乗った。」)	3-(3)
2	129	図3	「アイルランド問題」中、「1949 アイルランド共和国成立(イギリス連邦離脱)」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (国名)	3-(3)
3	131	11 - 14	1871年には臨時政府が成立したが、プロイセンを中心に統一されたドイツとの間で屈辱的な講和を結ぶと、パリの民衆が蜂起し、自治政府(パリ=コミューン)を樹立した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (臨時政府の成立時期)	3-(3)
4	152	18 - 19	中国分割の危機に対して、農民を中心とする義和団の排外運動も生じた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (義和団の性格)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 27-202		学校 高等学校		教科 地理歴史		種目 世界史A		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	20	図5説明	「首都長安」中、「天子の御座する大極殿」 図中の「大極殿」も同様。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「大極殿」)	3-(3)				
2	43	写真9	写真中の文字「尖頭」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「尖頭」)	3-(3)				
3	46	図2説明	「古代アテネの女性」中、「安楽いすに腰かけてワインを飲んだり、竖琴に興じたりする女性の描写。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (図と説明が合っていない。)	3-(3)				
4	49	図5	タイトル「ユスティニアヌス帝時のビザンツ帝国」	脱字である。 (「ユスティニアヌス」)	3-(2)				
5	58 - 59	15 - 3	アラブ・ベルシアのムスリム商人の活動はインド洋にとどまらず、西はマラッカ海峡を通じて中国の広州・泉州まで、東は東アフリカやエジプトを通じて地中海にまで達し	生徒にとって理解し難い表現である。 (東西の位置関係)	3-(3)				
6	97	図3	タイトル「快速帆船(フリッパー)カテゴリーサーク」	誤植である。 (ルビ)	3-(2)				
7	103	図5	「ウィーン会議「会議は踊る」」中、「オーストリア外相」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (人物の地位)	3-(3)				
8	107	側注1	干渉せず	誤植である。	3-(2)				
9	109	9 右	これをきっかに	脱字である。	3-(2)				
10	113	2	オーウェン	表記が不統一である。 (同ページ図6説明中の「オーエン」)	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 27-202		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 世界史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	113	図6	タイトル「ニューナラーク村の紡績工場」	誤記である。 (「ニューナラーク」)	3-(2)
12	116	1 - 2	ウィーン体制後のフランスでは、立憲君主制の下で王政が復活していたが	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ウィーン体制後」)	3-(3)
13	126	10	発電機	誤記である。	3-(2)
14	143	図5	「日清戦争」中、「江華島」	生徒が誤解するおそれのある図である。 (引き出し線)	3-(3)
15	172	8 - 11	日本は……袁世凱政府に二十一か条要求の承認を強要して、これを認めさせた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (同ページ左囲み「中国に対する二十一か条要求」の全てを認めさせたかのように誤解する。)	3-(3)
16	180	4	国内では約30万人をこえる失業者が出た。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (失業者数)	3-(3)
17	183	13	インドシナ南部も占領した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (インドシナ南部の状況)	3-(3)
18	191	図5	タイトル「国際連合のしくみ(1950年代)」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「1950年代」)	3-(3)
19	195	1 - 2	北緯38度線の軍事境界線を境に	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「軍事境界線」)	3-(3)
20	211	囲み	「グローバル経済のなかの日本」中、「1890年代前半のアメリカの膨大な貿易赤字」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「1890年代前半」)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

3 枚中 3 枚目

受理番号 27-202		学校 高等学校		教科 地理歴史		種目 世界史A		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
21	218	写真1	写真の説明中, 「影響か強い」	誤植である。	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 27-35		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 世界史B	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	49	25 - 26	ポリュビオス(前200ごろ～後118以後)	誤りである。 (没年)	3-(1)
2	63	下右図 説明	「オケオ出土のローマ金貨」中、「マルクス=アウレリヌス=アントニヌス」	誤植である。 (「アウレリヌス」)	3-(2)
3	93	上左表	「均田制の変遷」中、「1畝=約6.3a」と「100畝(約5.8ha)」	生徒にとって理解し難い表現である。 (計算があわない。)	3-(3)
4	94	図	「唐代のアジア」中、「遣唐使の航路」を示す線 101ページの図「8～9世紀の東アジア」中、「南島路」も同様。	生徒が誤解するおそれのある図である。 (遣唐使の航路)	3-(3)
5	96	図	「東アジアの都城の構造」中、「長安城(唐)」	不正確である。 (「大極殿」)	3-(1)
6	135	11 - 14 左	ヨーロッパとユーラシアのはざまに位置するスカンディナヴィアは、ヨーロッパ、ビザンツ、イスラーム圏をつなぐ北方ルートを支配した。	相互に矛盾している。 (129ページ10～11行目に「多様な自然条件をかかえるヨーロッパは、人間集団が絶え間なく移動するユーラシア世界の一部である。」とある。)	3-(1)
7	139	14 - 15	ブルガリア王国を建国し、のちにビザンツ帝国に併合されてギリシア正教に改宗した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (時系列)	3-(3)
8	152	5 - 6	集権化をすすめるイギリスやフランス 184ページ囲み、185ページ2行目、12行目、20行目、グラフ及びグラフ説明、189ページ9行目、12行目、側注3、	不正確である。 (「イギリス」)	3-(1)
			190ページ地図凡例、203ページ側注3も同様。		
9	176	写真説明	「銀錠」中、「銀貨ではなく」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「銀貨ではなく」)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-35		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 世界史B	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	211	1 - 4	北方戦争(1700~21)をたたかって勝利し、……戦勝後、ピョートル1世はロシア帝国の成立を宣言し、バルト海をのぞむ地に建設したペテルブルクを首都とした。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (時系列)	3-(3)	
11	253	27 - 30	第7代大統領ジャクソンは初の西部出身者で、西部の自営農の支持を得て、白人男性の普通選挙権の実現や経済の自由化など「ジャクソニアン=デモクラシー」とよばれる民主主義改革をおこなった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ジャクソンの支持層と、ジャクソンがおこなった民主主義改革について誤解する。)	3-(3)	
			こなった。			
12	264	図説明	「チャーティストの大集会」中、「1848年、ロンドンにおける集会。…48年集会で絶頂をむかえ」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (1848年にチャーティスト運動が絶頂をむかえたかのように誤解する。)	3-(3)	
13	279	8 - 9 左	資料①にみるように、綿花地帯では黒人奴隷の人口が急増したのである。	生徒にとって理解し難い表現である。 (資料①に綿花地帯がない。)	3-(3)	
14	323	13 - 14	白蓮教系の宗教結社がキリスト教を排撃して勢力をのばした。彼らは義和団を名のり	不正確である。 (義和団の性格)	3-(1)	
15	326	図	「明治初期の領域画定」の凡例中、「1854年の日露国境」	不正確である。 (年次)	3-(1)	
16	351	29 - 30	ワシントン会議で九か国条約を締結し、これによって山東省の利権は中国に返還された。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (山東省利権返還の状況)	3-(3)	
17	362	3 - 4	日本は1934年にワシントン海軍軍縮条約を破棄	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「破棄」)	3-(3)	
18	368	写真説明	「沖繩戦」中、「日本軍は少年や女子学生を中心とした学徒兵を動員して」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (女子学生の状況)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 27-35		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 世界史B	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
19	372	側注1	1943年のダンバートン=オックス会議	不正確である。 (年次)	3-(1)
20	394	囲み	キーワード「イスラーム主義」中、「イスラーム復興をめざす運動の総称。イスラーム主義とは、信仰をより深めようとする個人レベルの行動から、イスラーム法にもとづく国家創設をめざす政治レベルの運動まで多様であり」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (イスラーム主義の定義)	3-(3)
21	416	9 - 11	1970年代には、……戦略兵器制限交渉(SALT)がはじまった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (SALTの開始時期)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-53		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 世界史B	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	274	3 - 6	西部出身のジャクソンは、農民や都市の下層民重視をうたい、選挙権の財産制限を撤廃して、すべての白人男性に選挙権を与える改革を実行し、民主政治の基盤を拡大した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ジャクソンが実行した改革について誤解する。)	3-(3)
2	275	図	「アメリカ合衆国の領土拡張」中、「南北戦争時の北軍参加州(23州)」	生徒が誤解するおそれのある図である。 (23州の範囲)	3-(3)
3	279	15 - 16	カントがドイツ観念論哲学を完成させ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「ドイツ観念論哲学を完成」)	3-(3)
4	391	11 - 12	81年、鄧小平を中心にした新指導部は農業・工業・国防・科学技術の「四つの現代化」を推進し、その後の中国は改革・開放路線に転じていった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (改革・開放政策の展開過程について誤解する。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 27-65		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 世界史B	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	7	写真	「地球」中、「私たちの直接の祖先が、この地球上に登場したのはようやく4万年ほど前のことである。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (24ページ23行目「少なくとも20万年前ごろから、」に照らして理解し難い。)	3-(3)
2	63	下右写真	「吉野ヶ里遺跡」キャプション	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (復元であることが分からない。)	3-(3)
3	71	10 - 17	グプタ朝の時代には、・・・さらにヴァルナごとに人々の生活規範を定め、王の義務や民法、刑法をまとめた『マヌ法典』が編纂された。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (『マヌ法典』の編纂時期)	3-(3)
4	92	図	「古代東アジアの都城の平面構造」中、「長安城」	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「大極殿」)	3-(3)
5	115	側注1	北米大陸の先住民をさす「インディアン」は、現在は差別語であるとして使われていない(→p.207)。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「インディアン」という語の使用状況)	3-(3)
6	160	17 - 19	イングランドのウィクリフやベーメンのフスは、・・・教会の世俗化を批判して宗教改革の先駆をなした。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ウィクリフやフスの時代の教会の状況)	3-(3)
7	224	囲み	「シク教」中、「アウラングゼブ帝」	表記が不統一である。 (223ページ14～15行目「アウラングゼーブ」)	3-(4)
8	237	写真	「長崎の古地図」中、「オランダ風説書」	表記が不統一である。 (247ページ10行目「和蘭風説書(おらんだふうせつがき)」)	3-(4)
9	276	2 - 6	南米北部ではベネズエラのクリオーリョ革命家シモン＝ボリバルが共和国政府を樹立したが、一度は弾圧され、奥地の根拠地で態勢を立て直したのち、1811年にベネズエラ、19年に(大)コ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (時系列)	3-(3)
			ロンビア、22年にエクアドルを解放していった。		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 27-65		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 世界史B	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	286	上左写真	「チャーティスト運動」中、「1848年、ロンドンでの集会。労働者を中心にした本格的な政治運動であったチャーティスト運動は、このとき絶頂に達したが、」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (1848年にチャーティスト運動が絶頂に達したかのように誤解する。)	3-(3)	
11	351	3 - 5	こうして、1916年にはドイツで軍部独裁が、イギリスではロイド＝ジョージ内閣が、フランスでは17年に対独強硬論のクレマンソー内閣が成立した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ドイツで軍部独裁が成立した時期)	3-(3)	
12	368	11 - 15	バリ講和会議でもちこされた中国や太平洋の秩序の再編については、ワシントン会議で議論された。ここで、ワシントン海軍軍縮条約、四か国条約とともに、中国に関する九か国条約が締結	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ワシントン会議で山東問題が解決をみたかのように誤解する。)	3-(3)	
			された。九か国条約には中国も加わり、山東問題や二十一か条問題についても一定の解決をみた。 (356ページ側注⑧も同様)			
13	376	14 - 15	日本はただちに国際連盟を脱退し、翌34年にはワシントン海軍軍縮条約の破棄を通告した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「破棄」)	3-(3)	
14	386	23 - 27	また、国際連合には、事務総長を首班とする事務局が置かれ、経済社会理事会、ユネスコ(国連教育科学文化機関)、世界保健機関(WHO)のほか、国際司法裁判所や国際労働機関(ILO)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (国際連合の組織及び専門機関との関係)	3-(3)	
			などの戦前以来の組織もその下に置かれるなど、多くの専門機関が設けられた。			
15	389	3 - 8	1947年にギリシアとトルコに対する経済援助を与える、トルーマン＝ドクトリンを発表した。・・・同年、合衆国の国務長官マーシャルは、ヨーロッパ復興のためマーシャル＝プラン(ヨー	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ヨーロッパ経済協力機構の設立時期)	3-(3)	
			ロッパ経済復興援助計画)を発表した。西欧諸国は同年にヨーロッパ経済協力機構(OEEC)を設立してこれに応じたが、			
16	393	12 - 13	南ヨーロッパでは、ギリシアで1966年以来つづいた軍事政権が74年に倒れ、民主政に復帰した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ギリシアでの軍事政権の時期)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 27-65		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 世界史B	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
17	419	20 - 23	1990年代のヨーロッパでは地域統合がさらに進展した。ECにギリシアやポルトガルが加わり、92年にはマーストリヒト条約が締結されて、それまでの市場統合に、通貨統合と政治統合を加え	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ギリシアやポルトガルのEC加盟時期)	3-(3)	
			たヨーロッパ連合形成への道筋が示された。			
18	420	13 - 15	アメリカ合衆国は、1990年代初頭、共和党のブッシュ政権のもとで冷戦終結や湾岸戦争での勝利を達成し、	生徒にとって理解し難い表現である。 (冷戦終結の時期)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-158		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	19	上囲み	①一八〇七（文化四）年、アメリカ人フルトンが発明。	不正確である。 （「発明」）	3-(1)
2	33	15 - 16	新政府の成立とそれともなう諸変革を御一新、また中国の古語をあてて維新とも呼んだ（明治維新）。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （明治維新の開始時期）	3-(3)
3	45	脚注①	1885（明治28）年1月	誤りである。	3-(1)
4	72	下写真 キャプション	（東京大学法学部付属明治新聞雑誌文庫蔵）	不正確である。 （現在の所蔵機関名）	3-(1)
5	103	19	北里柴三郎（きたざとしばさぶろう）	不正確である。 （ルビ）	3-(1)
6	114	3 - 5	内閣は、立憲政友会の原敬と立憲国民党の犬養毅ら、閣外の政党代表を取り込むほか、外交政策の統一をはかるためとして、臨時外交調査委員会を設置した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （原敬や犬養毅の扱い）	3-(3)
7	200	上写真 キャプション	沖縄のアメリカ軍嘉手納基地（1996年）	誤りである。 （年次）	3-(1)
8	221	4 - 10	1987（昭和62）年半ばから内需に主導されて景気が回復した。…インターネットや携帯電話が普及し、市民生活が大きく変容した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （インターネットや携帯電話が普及した時期）	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-160		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	口絵		2ページ目上切り込み図中の津軽半島と下北半島の塗色	生徒にとって理解し難い表現である。 (同ページ地図中の陸奥の塗色との関係)	3-(3)	
2	口絵		3ページ目の「日本の世界遺産」(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (世界遺産の正式名称)	3-(3)	
3	6	2 左	500万年ほど前	不正確である。 (年代)	3-(1)	
4	6	2 右	紀元前1500年、中国に強大な国家・殷が成立	不正確である。 (年代)	3-(1)	
5	7	下右図	5世紀の東アジア	不正確である。 (倭国の範囲)	3-(1)	
6	10	10 - 11 左	白河・鳥羽・後白河などの院(上皇)は、皇太子をおかず、	不正確である。 (皇太子の存在)	3-(1)	
7	11	上図キャプション	「元軍と日本の武士の戦い」中、「2回とも台風によって大きな損害」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「2回とも台風」)	3-(3)	
8	15	15 左	皮革精製業	不正確である。 (「精製業」)	3-(1)	
9	25	21 - 28 右	テレビや新聞、インターネット、書籍などを通じて情報を集め、..討論し、まとめてみましょう。	表記が不統一である。 (文末が他の文章と相違)	3-(4)	
10	29	図3	「19世紀のアジアの情勢」中、インド、北ボルネオ	生徒にとって理解し難い表現である。 (着色)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 2 枚目

受理番号 27-160		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	30	図 1	「外国船の来航」中、「宝島 1825英船員上陸」	誤りである。 (年次)	3-(1)
12	38	側注 1	…1842年に南京条約が締結された。この不平等条約で、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (南京条約の内容)	3-(3)
13	45	図 3	「木戸孝允の書状への坂本竜馬の裏書」中、「国立公文書館蔵」	誤りである。 (所蔵機関)	3-(1)
14	48	10 - 11	新政府による明治維新に…	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (明治維新の定義)	3-(3)
15	50	側注囲み	「地主」中、「近代の地主とは、…寄生地主のことである。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (近代の地主の実態)	3-(3)
16	54	側注 1	使節61名に、42名の留学生	不正確である。 (人数)	3-(1)
17	61	上史料	「民撰議院設立建白書」中、「日新真事誌」	表記が不統一である。 (新聞の表記形式)	3-(4)
18	71	上囲み	「ビゴーと近代日本」中、「司法省旧法学校」	誤りである。 (名称)	3-(1)
19	89	5	大教院	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明不足)	3-(3)
20	95	3 - 4	第1次山本内閣は軍部大臣現役武官制の現役規定を削除するなど行財政整理に取り組んだ。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (軍部大臣現役武官制の現役規定削除と行財政整理との関係)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 27-160		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	97	右囲み	「最後通牒」中、「相手国が受け入れなければ交渉を打ち切るというもの。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (最後通牒の実態)	3-(3)	
22	104	11 - 13	さらに1922年には、国際連盟規約にもとづく連盟の付属機関として、…常設の国際司法裁判所が設置された。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「付属機関」)	3-(3)	
23	104	下囲み	「新渡戸稲造」中、「国際連盟書記局事務次長」	不正確である。 (職名)	3-(1)	
24	108	23 - 24	社会民主主義政党(無産政党)	生徒にとって理解し難い表現である。 (同ページ側注では、「社会主義政党」)	3-(3)	
25	119	図4	「北伐と山東出兵」中、「日本軍の進出方向」	不正確である。 (奉天からの破線)	3-(1)	
26	119	図5	「高橋是清」中、「25年」	誤りである。 (年次)	3-(1)	
27	122	側注2	憲政党	誤りである。 (名称)	3-(1)	
28	125	図3	「満州事変関連地図」中、「樺太」	不正確である。 (樺太北部の塗色)	3-(1)	
29	129	11 - 13	また共産党支配地区を中心に中国の人びとから「焼きつくす(放火)・殺しつくす(殺りく)・奪いつくす(略奪)」とよばれた三光作戦を展開した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「三光作戦」と呼んだ主体)	3-(3)	
30	130	15 - 19	平沼内閣はドイツへの接近を強めるとともに、…海南島を占領した。しかし、このことが…日米通商航海条約の廃棄を通告される原因…日独軍事同盟の締結を急ぐ陸軍は…大敗した	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (平沼内閣の状況、条約廃棄及びノモンハン事件の原因)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

5 枚中 4 枚目

受理番号 27-160		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
			(ノモンハン事件)。		
31	134	19	サイパン島	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (サイパン島の帰属状況)	3-(3)
32	134	図1	「アジア太平洋戦争要図」中、「オアフ島 42. 12. 8 サイパン島42. 12. 10」	誤りである。 (年月日)	3-(1)
33	135	写真4	「大東亜会議」中、「タイ首相」	誤りである。 (職名)	3-(1)
34	137	16	マレーシア	表記が不統一である。 (下右囲みでは「マラヤ」、134ページ図1では「マレー」)	3-(4)
35	145	図	「1960年までの独立国」中、海南島	不正確である。 (着色)	3-(1)
36	145	図	「1960年までの独立国」中、「㊶コンゴ民主共和国」	誤りである。 (名称)	3-(1)
37	158	図2	「朝鮮戦争要図」中、南北境界線	不正確である。 (国境線との相違)	3-(1)
38	160	1 - 2	米アメリカ軍	不正確である。	3-(1)
39	165	図6	「おもな政党の変遷」中、「共同民主党」	誤りである。 (名称)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 5 枚目

受理番号 27-160		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
40	165	図 5	「北方領土」中、宗谷海峡及び「千島列島（※）」	生徒にとって理解し難い表現である。 （国境線及びマーク）	3-(3)
41	165	図 6	「おもな政党の変遷」中、「47 日本民主党」	誤りである。 （名称）	3-(1)
42	183	上囲み	「戦後補償の問題」中、「…日本政府は「アジア女性基金」を設立し、「償い金」などを配布している。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （アジア女性基金の現状）	3-(3)
43	186	側注 2	働く意志や意欲をもたない「ニート」とよばれる若年無業者	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （ニートの定義）	3-(3)
44	189	上左図	岐阜県高山市	生徒にとって理解し難い図である。 （高山市やその他の市の範囲）	3-(3)
45	192	19 左	軍人・兵士	不正確である。 （「兵士」）	3-(1)
46	201	年表	世界 1917 二月・三月革命（露）	不正確である。 （二月・三月革命）	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 1 枚目

受理番号 27-168		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	20	37 左	今昔物語	不正確である。 (名称)	3-(1)
2	23	1 - 24 左	徳川家康は明や朝鮮との国交を回復しようとし、…日本と中国との貿易は続いた。朝鮮との関係は維持され、朝鮮から慶賀の使節が来日した。	生徒にとって理解し難い表現である。 (日明・日朝関係の推移)	3-(3)
3	23	15 - 16 右	伏見・灘などの酒造をはじめ、各地で特産品が生まれた。	不正確である。 (「酒造」)	3-(1)
4	38	22 - 26	長州藩は、外国艦船を…薩摩藩も…、1863年、イギリス艦隊と一戦をまじえることとなった(薩英戦争)。しかし、会津藩・薩摩藩などは、その軍事力を背景に朝廷の方針を…尊攘	生徒にとって理解し難い表現である。 (「薩英戦争」と「八月十八日の政変」との関係)	3-(3)
			派を京都から追放した(八月十八日の政変)。		
5	49	右囲み	「紀元節と天長節」中、「明治維新」	生徒にとって理解し難い表現である。 (明治維新について説明不足)	3-(3)
6	50	25 - 26	1873(明治6)年10月、参議西郷隆盛は使節として朝鮮に渡り、この問題の処理にあたらうとした。	誤りである。 (月)	3-(1)
7	52	側注1	1772(寛政4)年、ロシア使節ラックスマンが根室に来航して通商を求め、	誤りである。 (年次)	3-(1)
8	67	3 - 4 左	幕府は1857(安政4)年、蕃書調所を設置した。	不正確である。 (年次)	3-(1)
9	80	側注1	1887年に朝鮮は国号を「大韓帝国」(韓国)と改めた。	誤りである。 (年次)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 27-168		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	81	21 - 22	・講和条約（ポーツマス条約）が調印された。その内容は、(1) 日本の韓国における独占的支配権を	不正確である。 (ポーツマス条約の内容)	3-(1)	
11	82 - 83	22 - 2	併合後、日本の植民地としての基礎をつくるために、土地調査事業がはじめられた。総督府は朝鮮人農民から収奪した土地を、日本人地主や東洋拓殖会社などに払い下げていった。	生徒にとって理解し難い表現である。 (106ページ側注2「土地所有権を確定して地税を徴収する土地調査事業」との関係)	3-(3)	
12	90	24 左	主席	誤記である。	3-(2)	
13	90	27 左	萩の舎塾（はぎのしゃじゅく）	誤りである。 (読み方)	3-(1)	
14	107	4 - 7 右	日本人の多くは朝鮮人を「ヨボ」とよんだという。「ヨボ」とは「余補」（余った残り）のことで、植民地のぜいたくな生活からは、こうした蔑視感もつくりだされた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「ヨボ」)	3-(3)	
15	109	下囲み	「人物歴史館 幣原喜重郎」中、右5-6行目「田中義一の軍拡による強硬外交」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (軍拡)	3-(3)	
16	110	側注3	朝鮮人数千人、・・と推定されている。	通説的な見解がないことが明示されておらず、生徒が誤解するおそれのある表現である。 (人数)	固有 1-(2)	
17	113	側注4	満州鉄道	不正確である。 (名称)	3-(1)	
18	126	21 - 24	しかし、6月にドイツがソ連への侵攻をはじめ、ヨーロッパの戦局が新たな段階に入ると、日本は、・・ソ連と満州の国境付近に軍隊を動員するとともに、7月、フランス領インドシナ南部(南部仏印	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (関東軍特種演習の時期)	3-(3)	
)			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 27-168		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	129	9 - 10	京都では、ヨーロッパの反ファシズム運動をくわしく紹介した雑誌『世界文化』が発行された。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (『世界文化』の発行時期)	3-(3)	
20	134	16 - 17	中国戦線でも、日本軍は中国共産党軍に対して苦戦を続けていた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (中国戦線の実態)	3-(3)	
21	136	6 - 7 左	学習院高等学科	誤りである。	3-(1)	
22	136	下左表	「大正・昭和初期の学問」中、「柳田国男(やなぎだくにょ)	誤りである。 (読み方)	3-(1)	
23	148	16 - 17	旧宗主国のフランスが介入してインドシナ戦争となり、1954年、南部に分断国家がつけられた。	相互に矛盾している。 (同ページ地図「アジア諸国の独立」には、「ベトナム共和国 1955.10」)	3-(1)	
24	149	2 - 4	復員や引き揚げにより、計500万人の日本人兵士や民間人が日本にもどった。	不正確である。 (人数)	3-(1)	
25	150	21 - 22	5月には極東国際軍事裁判(東京裁判)がはじまり、10月からは、BC級戦争犯罪裁判が日本や海外で開かれた。	誤りである。 (BC級戦争犯罪裁判の開始時期)	3-(1)	
26	159	21 - 22 右	世界にあって、「西洋」型でも「東洋型」でもない近代化	表記が不統一である。 (「」の使用法)	3-(4)	
27	161	側注3	ソ連がヤルタ協定によって千島列島を占領したのに対して、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ヤルタ協定の正当性)	3-(3)	
28	163	2	自民党	誤りである。 (名称)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 27-168		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
29	164	1 - 3	日本の経済は、1950年代後半から好況が続き、1973(昭和48)年の石油危機まで、実質GNPが毎年10%も増加する高度経済成長の時代が続いた。	不正確である。 (同ページグラフ「景気変動と実質経済成長率」との齟齬)	3-(1)
30	190	11 - 12	アジア・太平洋経済協力会議(APEC) (190ページ上右図, 201ページ上右図も同様)	不正確である。 (名称)	3-(1)
31	203	表	オリンピック開催都市	不正確である。 (夏季大会のみの開催都市)	3-(1)
32	206 - 208	年表	各時代の始期と西暦年号	不正確である。 (不一致)	3-(1)
33	217	表	「76 77第1次・第2次海部俊樹内閣」中、「湾岸戦争勃発、90億ドルの支援実施」	不正確である。 (「90億ドル」)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

9 枚中 1 枚目

受理番号 27-169		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	表見返 2		表見返 2 上切り込み図中の津軽半島と下北半島の塗色	生徒にとって理解し難い表現である。 (同ページ地図中の陸奥の塗色との関係)	3-(3)
2	表見返 3		下部の「文化遺産」・「自然遺産」の名称	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (正式名称と略称とが混在している。)	3-(3)
3	3 目次		「歴史を視る」中の「政社と自由民権……………54」	生徒にとって理解し難い表現である。 (54ページのタイトル「自由民権運動と民権結社」との関係)	3-(3)
4	15	図	図 1～図 4	通常の約束に従って記載されていない。 (縮尺)	固有 2-(1)
5	15	図 4	「日本 平城京」の地図	生徒が誤解するおそれのある図である。 (朱雀大路・東市・西市の位置、下方にある二つの「市」)	3-(3)
6	15	上右地図	地図「▲ 8 世紀の東アジア」中の遣唐使の航路	生徒が誤解するおそれのある図である。 (南島路)	3-(3)
7	15	下右囲み	「中華思想と冊封体制」中の「遣唐使は不定期の朝貢使で」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「不定期」)	3-(3)
8	17	下右囲み	「アイヌ文化の成立と琉球王国の繁栄」中の「本州の土師器に影響をうけた擦文土器をつくっていた人々の文化(擦文文化)にかわって、鉄器の使用を特徴とするアイヌ文化が成立した。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (擦文文化と鉄器の使用)	3-(3)
9	25	7 - 8	幕府は、一時、松前藩から蝦夷地全体をとりあげ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (松前藩の蝦夷地支配の実態)	3-(3)
10	25	中右図	タイトル「ジャングランド」	不正確である。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

9 枚中 2 枚目

受理番号 27-169		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	31	上写真	「ええじゃないか」のキャプション中の「三重県立博物館蔵」	不正確である。	3-(1)	
12	31	中右写真	「坂本龍馬」キャプション中の「公儀政体論」	誤記である。 (「公儀」)	3-(2)	
13	37	上写真	「大日本内国勸業博覧会製糸器械之図」キャプション中の「1887年から1903年にかけて5回にわたり内国勸業博覧会が開催され」	誤りである。 (「1887年から」)	3-(1)	
14	37	上写真	「大日本内国勸業博覧会製糸器械之図」キャプション中の「静岡中央図書館蔵」	不正確である。	3-(1)	
15	38	2	オスマントルコ	生徒にとって理解し難い表現である。 (同ページ上の地図中の「オスマン帝国」との関係)	3-(3)	
16	47	上右写真タイトル	「秩父事件顕彰碑」	生徒にとって理解し難い表現である。 (写真と「顕彰碑」との関係)	3-(3)	
17	50	側注②	「黒田清隆」のルビの「まさたか」	不正確である。	3-(1)	
18	53	8-10	いっぽう、清とフランスの戦争など、軍事的な緊張が東アジアで高まるなか、国家の権力を拡張しようとする考えが強まっていった。	生徒にとって理解し難い表現である。 (誰の間に強まっていったのか分からない。)	3-(3)	
19	67	上右地図	タイトル中の「台湾征服戦争」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (この名称が一般的であるかのように誤解する。)	3-(3)	
20	67	側注⑥	日清戦争は、日本と清だけでなく、朝鮮・台湾を含む東アジア全体をまきこんだ複合的な戦争だった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (台湾の扱い)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

9 枚中 3 枚目

受理番号 27-169		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	72	14 - 15	日露戦争後、日本は桂・タフト協定と第2次日英同盟をむすび	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「日露戦争後」)	3-(3)
22	73	図	下中地図の関東州をさす囲み中の「関東州 (1905~45日本領)」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (租借地の性格)	3-(3)
23	76	17	紡績業では、豊田式動力織機をはじめとする機械制生産がひろがり	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (紡績業と動力織機との関係)	3-(3)
24	84	10 - 11 右	柔道は1898年以降、旧制中学校の必修教科となり	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「1898年以降」)	3-(3)
25	85	写真	「火中の栗」キャプション中の「中央新聞」	表記が不統一である。 (他の箇所では新聞名を『』で囲っている。)	3-(4)
26	86 - 87	図	地図「1920年前後の世界」全体	生徒にとって理解し難い図である。 (国境線)	3-(3)
27	88	下左写真	北沢楽天『東京バック』	生徒にとって理解し難い表現である。 (北沢楽天と『東京バック』との関係)	3-(3)
28	92	側注①	(戦争違法化体制)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (この用語が一般的であるかのように誤解する。)	3-(3)
29	93	6 - 9	朝鮮総督府は、軍隊を動員して運動をきびしく鎮圧し7500人もの死傷者をだした。	通説的な見解がないことが明示されておらず、生徒が誤解するおそれのある表現である。 (人数)	固有 1-(2)
30	94	6 - 9 右	日本の植民地台湾では、1920年代に漢民族による台湾議会の設置運動がおこなわれた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (台湾議会の設置運動が台湾でのみ行われたかのように誤解する。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

9 枚中 4 枚目

受理番号 27-169		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
31	99	10 - 11	雑誌「改造」「解放」なども創刊され	表記が不統一である。 (他の箇所では雑誌名を『』で囲っている。)	3-(4)
32	99	下右写 真	左から2人めが平塚	誤りである。	3-(1)
33	101	2 - 4	軍隊・警察や自警団が、6000人以上の朝鮮人…を虐殺した。	通説的な見解がないことが明示されておらず、生徒が誤解するおそれのある表現である。 (人数)	固有 1-(2)
34	108 - 109	上地図	地図「1940年前後の世界」の109ページ部分全体	生徒にとって理解し難い図である。 (海岸線の塗色、国境の欠落、マレー半島の形)	3-(3)
35	111	26 - 27	国民党軍が北京に入場すると	不正確である。 (「入場」)	3-(1)
36	111	27 - 30	軍部は満蒙における日本の権益が脅威にさらされるとして……それまで協力関係にあった張作霖を爆殺して、直接南満州を軍事占領しようとした(張作霖爆殺事件)。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「軍部」)	3-(3)
37	111	側注③	中国における抗日運動は空前の高まりをみせた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「5・30事件」の性格)	3-(3)
38	113	側注③	「満州国」樹立から列国の目をそらすために、上海で中国人を買収して日本人僧侶を殺させた謀略事件。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「謀略事件」が事変であるかのように誤解する。)	3-(3)
39	114	25 - 26 左	1918(大正7)年から1931年まで使用された	不正確である。 (「1931年」)	3-(1)
40	114	7 右	1932年から使用された	不正確である。 (「1932年」)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

9 枚中 5 枚目

受理番号 27-169		学校 高等学校		教科 地理歴史		種目 日本史A		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
41	116	11	無住区（無住禁作区）	生徒にとって理解し難い表現である。 （上左地図凡例「無住区・耕作禁止区」との関係）	3-(3)				
42	117	10 - 11	南京市内外で捕虜・投降兵をはじめ女性や子どもを含む中国人20万人を殺害し（同ページ側注⑤及び118ページ30行目「?2 どれほどの数の人が被害者になったのでしょうか」から119ページ6行目（「資料B」の末尾）までも同様）	通説的な見解がないことが明示されておらず、生徒が誤解するおそれのある表現である。 （人数）	固有 1-(2)				
43	117	側注⑤	「殺害者数」	生徒にとって理解し難い表現である。 （118ページでは「被害者」）	3-(3)				
44	118 - 119	1 - 15	「南京市内外でなにおきたのでしょうか」から資料Cの末尾「まことに相すまぬ、むごいことであった」まで（全体）	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 （「内容の取扱い」（2）「この科目の指導に当たっては、客観的かつ公正な資料に基づいて、事実の正確な理解に導くようにするとともに、多面的・多角的に考察し公正に判断する能力を育成するようにする」）	2-(1)				
45	118	中段	資料Aはジョン・ラーベというドイツ人がヒットラーに提出した報告書の文章です。ラーベはジューゼン社南京支社支配人として南京にいて、安全区国際委員会委員長をしていました。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （ラーベの報告書について情報が不足している。）	3-(3)				
46	118	上左図	「南京内外図」キャプション中の「場内」	誤記である。	3-(2)				
47	120	12 - 14	電力国家管理法を公布し、国家が民間企業の経営に介入するきっかけをつくり、1938（昭和13年）4月には、衆議院での反対論をおさえて国家総動員法を成立させた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （電力国家管理法公布と国家総動員法成立の前後関係）	3-(3)				
48	120	下左地図タイトル	「▲第2次世界大戦中のヨーロッパ」	誤記である。 （「▲」）	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-169		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
49	126	6 - 7	当時、朝鮮では同じ本貫の人は、同じ姓でも異なる姓でも結婚できませんでした。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「異なる姓」)	3-(3)	
50	128	写真② タイトル	悲しき別れ一茶毘	誤記である。 (「茶毘」)	3-(2)	
51	131	側注③	軍部を信頼していた天皇は近衛の意見をとりあげなかった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「軍部を信頼」)	3-(3)	
52	143	36	張赫宙(チャンヒュクチュ)「朝鮮人集落を行く」より	学習上必要な出典が示されていない。 (何という文献にあたればよいのか分からない。)	2-(10)	
53	151	側注⑥	検察内で、天皇訴追を主張したのはオーストラリアとニュージーランドの代表だけであった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「ニュージーランド」)	3-(3)	
54	154	15	日本自由党・日本進歩党・協同党が結成された。	名称が不正確である。 (「協同党」)	3-(1)	
55	166 - 167		「国境はどのように決まるのでしょうか」(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (二島返還論と四島返還論それぞれの立場、北方領土問題の歴史的経緯、45ページ19～20行目との関係、「?4その後、日本政府の主張はどのように変化したのでしょうか」)	3-(3)	
56	166		タイトル「国境はどのように決まるのでしょうか」	生徒にとって理解し難い表現である。 (166～167ページ全体の内容と合っていない。)	3-(3)	
57	167	26 - 28	また、尖閣諸島(沖縄県)に関しては中国が領有権を主張しています。日本政府は、これらの島々はいずれも日本固有の領土であると主張しています。日本がかかえる領土問題をどう解決し	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (尖閣諸島について解決すべき領土問題があるかのように誤解する。)	3-(3)	
			たらよいのか、みんなで意見を出しあってみましょう。			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-169		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
58	175	20 - 22	いっぽう、日本の植民地支配への謝罪や補償などは不十分なままに終わり、朝鮮民主主義人民共和国との国交調整に道を閉ざすことにもなった。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「謝罪や補償」と「国交調整」との関係)	3-(3)	
59	176	下写真 タイトル	土井拳	誤記である。	3-(2)	
60	177	25 - 26 左	戦後、アメリカのアジア支配のために形成された沖縄の米軍基地は	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「アメリカのアジア支配」)	3-(3)	
61	181	13 - 14 右	日本政府は78年から賠償の代わりに、ODA(政府開発援助)を提供し	誤りである。 (ODA提供開始年)	3-(1)	
62	181	28 - 32 右	現在実効支配している日本政府は、中国政府の領有権の主張に対し、固有の領土であり、領土問題は存在しないとされている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (尖閣諸島が日本固有の領土である経緯)	3-(3)	
63	189	4	ソ米	生徒にとって理解し難い表現である。 (同ページ1行目及び23行目では「米ソ」)	3-(3)	
64	189	11 - 12	1993(平成5)年1月には、初の戦略兵器削減条約も米ロ両国によって締結された。	誤りである。 (年次及び締結国)	3-(1)	
65	191	22 - 24	そして97年には、ヨーロッパでふたたび戦争をおこさない姿勢を示したEU憲法が発効した。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「EU憲法」と発効年の関係)	3-(3)	
66	191	上右写 真	「1993年8月5日」の新聞紙面とキャプション「慰安婦への強制を日本政府が認め、謝罪した河野官房長官談話を報じる新聞記事」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (新聞紙面の見出し「政府、強制連行を謝罪」と河野官房長官談話の内容との関係)	3-(3)	
67	196	15 - 16	2005年の衆議院議員選挙で自民党が圧勝して成立した第2次小泉内閣は	誤りである。 (「第2次」)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

9 枚中 8 枚目

受理番号 27-169		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
68	196	上囲み	「歴史のまど 地震・津波、そして原発事故」(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (震災と原発事故との関係)	3-(3)
69	197	14 - 15	しかし、その後の安倍内閣は、拉致問題などで北朝鮮に圧力を強める政策をおこなった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本の対北朝鮮政策)	3-(3)
70	197	側注③	しかし武力行使を認める国連決議はなかった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (武力行使の根拠)	3-(3)
71	198	27 - 28	アメリカを中心に、軍事力に依拠して国の安全を守ろうとする動きがあり、緊張関係をつくりだしている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (最近の状況)	3-(3)
72	199	上左円 グラフ	「▲世界の軍事費の割合(2009年)」	信頼性のある適切なものが選ばれていない。 (データとして古い。)	2-(9)
73	202	11 - 13 左	1990年代に、元慰安婦が日本政府に補償を求めて訴訟をおこした。	生徒にとって理解し難い表現である。 (訴訟の結果)	3-(3)
74	202	下地図	地図タイトル「いま問われる戦後補償」及び地図中の事項の塗色	生徒が誤解するおそれのある図である。 (既に決着済みのものと現在進行中のものとの区別が分からない。)	3-(3)
75	202		「戦後補償を考える」(全体)	政府の統一的な見解に基づいた記述がされていない。 (国家としての補償問題)	固有 1-(3)
76	205	39 - 41	さらに、戦争記述を争点にした第三次訴訟では、最高裁判所が南京大虐殺などの記述を検定で削除を求めるのは違法だと認定した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (対象となった検定では南京大虐殺の削除を求めたわけではない。)	3-(3)
77	210		右列一番下の片山哲の出生地(神奈川県)	誤りである。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

9 枚中 9 枚目

受理番号 27-169		学校 高等学校		教科 地理歴史		種目 日本史A		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由		検定基準			
	ページ	行							
78	211	表	「76 77 海部俊樹」中の「湾岸戦争で90億ドル支援」	不正確である。 (「90億ドル」)		3-(1)			
79	裏見返	写真①	写真中の「「日中歴史共同研究」報告書」と「【第2期】日韓歴史共同研究報告書」	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (日中歴史共同研究・日韓歴史共同研究の目的と、キャプション「日本・中国・韓国の研究者・教育者らが共通の歴史教材作成にとりくんでいる」との関係)		3-(3)			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 27-171		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	8	図②	大仏殿は世界最大の木造建築として有名である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「世界最大の木造建築」)	3-(3)
2	12	1 - 3	平安時代は、桓武天皇が都を長岡京・平安京(京都府)に移してから、鎌倉幕府が成立するまで、約400年のあいだ続いた。	相互に矛盾している。 (11ページの年表の平安時代の始まりとの関係)	3-(1)
3	14	17 - 19	幕府は幕藩体制を守るために土農工商を中心とする身分制度をつくり	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「土農工商」の実態)	3-(3)
4	19	図③	現在は、両国が共同管理している。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「共同管理」の当事者)	3-(3)
5	21	地図	東海道新幹線の駅	不正確である。	3-(1)
6	23	図③	東京大学法学部明治新聞雑誌文庫 (62ページ①②, 68ページ②も同様)	不正確である。 (現在の所蔵機関名)	3-(1)
7	33	10 - 11 左	現在私たちが経験する旅行のかたちは、団体によるものが多い。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (現在の「旅行のかたち」の実態)	3-(3)
8	42	図④	井上馨 (1836~1915) (43ページの33由利公正の生年も同様)	不正確である。 (生年)	3-(1)
9	59	16 - 20	国境の画定(全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (竹島・尖閣諸島)	3-(3)
10	62	図①	タコ(黒田侯)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (黒田清隆の爵位)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 27-171		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	74	図①	立憲政友会 1900 総理 伊藤博文	不正確である。 (「総理」)	3-(1)
12	82	11 - 12	日本の機械工業は、紡績業と製糸業からはじまった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「機械工業」)	3-(3)
13	94	7	北里柴三郎 (きたざとしばさぶろう)	不正確である。 (ルビ)	3-(1)
14	100	史料①	②玉座一天皇の御座所 (居室)。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「玉座」の意味)	3-(3)
15	115	11 左	軌道 (てつどう)	誤記である。 (ルビ)	3-(2)
16	118	図⑤	文化住宅	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (復元であることが分からない。)	3-(3)
17	121	上中	医学 23本多光太郎	誤りである。 (分類)	3-(1)
18	157	14 - 15	片山内閣は、…傾斜生産方式を採用し	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (傾斜生産方式が採用された時期)	3-(3)
19	163	図③	東西ドイツ分裂後は、西ベルリンは西ドイツ、…に属した	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (東西ドイツ分裂後の西ベルリンの帰属)	3-(3)
20	167	図③	サンフランシスコ平和条約による日本の領土	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「日本の領土」)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 27-171		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 日本史A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	182	図②	人々はスーパーマーケットに殺到し、パニックとなった（写真上）。死傷者が出たところもあった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。（パニックによる死者）	3-(3)
22	194	側注3	日本と各国とのあいだで結ばれた平和条約において、国家間での法的な問題は解決している	生徒が誤解するおそれのある表現である。（「平和条約」を結んだ国以外との関係）	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 27-52		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 日本史B	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	7	年表	「世界」の欄	不正確である。 (隋の成立年の位置)	3-(1)
2	26	地図	4～5世紀の東アジア	不正確である。 (済州島と台湾の塗色)	3-(1)
3	34	地図	「6世紀の朝鮮半島」中、「南加羅」	表記が不統一である。 (脚注①では「金官国(金海)」)	3-(4)
4	61	地図凡例	8～9世紀の城柵	不正確である。 (城柵の年代)	3-(1)
5	88	史料	院政の開始	不正確である。 (原文では一行目に省略がある。)	3-(1)
6	97	地図	鎌倉要図	誤植である。 (「巨福呂」のルビ)	3-(2)
7	105	上右図 キャプション	笠懸	誤記である。 (「男衾」のルビ)	3-(2)
8	148	地図	戦国大名の勢力範囲とおもな分国法・家訓	生徒にとって理解し難い図である。 (地図中の破線)	3-(3)
9	174	18	撰家(関白・三公)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (撰家と関白・三公の関係)	3-(3)
10	179	脚注4	『日本誌』を和訳した元オランダ通詞志筑忠雄は、これを「鎖国論」と題した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「これ」の指す内容)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 27-52		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 日本史B	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	239	史料	人返しの法 (261ページ史料「五箇条の誓文」も同様)	生徒にとって理解し難い表現である。 (アラビア数字の示す内容)	3-(3)
12	251	史料注 ①	一八〇七(文化四)年アメリカ人フルトンが発明。	不正確である。 (「発明」)	3-(1)
13	294	3 - 7	日本を含む列国は、連合軍を派遣し、義和団を北京から追って清国を降伏させ、翌年には清国と北京議定書を結んだ。 宗主国であった清国の敗北は、朝鮮の	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (前後関係)	3-(3)
			外交政策にも影響を与え、ロシアの支援で日本に対抗する動きが強まり、親露政権が成立した。		
14	317	7 - 9	資産家は通信販売でデパートから商品を買うこともあったが	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「通信販売」)	3-(3)
15	320	脚注2	11月に連合側側に休戦を申し入れた。	不正確である。 (「11月」)	3-(1)
16	408	8 - 14	1987(昭和62)年半ばから内需に主導されて景気が回復した。…インターネットや携帯電話が普及し、市民生活も大きく変容した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (インターネットや携帯電話が普及した時期)	3-(3)
17	411	1 - 2	2001年のアフガン戦争	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「アフガン戦争」)	3-(3)
18	411	1 - 3	2001年のアフガン戦争、2003年のイラク戦争に際しては、一連の特別措置法にもとづき自衛隊を派遣した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (派遣の目的)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 27-166		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 地理 A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	19	9	…排他的経済水域 (EEZ) いい, …	脱字である。	3-(2)
2	21	側注	1885年, 明治政府は清国の支配が尖閣諸島におよんでいないことを確認し, 正式に沖縄県に編入した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (明治政府が尖閣諸島を正式に沖縄県に編入した年次について誤解する。)	3-(3)
3	30	囲み	北里… (きたざと…)	誤記である。 (「きたざと」)	3-(2)
4	41	図2	河岸段丘の地形図 169ページ 図4 電子地形図25000	電子地形図のタイトルに, 学習上必要な月が示されていない。	2-(10)
5	48	側注①	常緑広葉樹 落葉しない広葉樹のことをいう。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (葉の更新について誤解する。)	3-(3)
6	54	図4	冷帯・寒帯の分布 (南極大陸の塗色)	生徒にとって理解し難い図である。 (55ページ12~13行目には, 「冰雪気候 (EF) の地域は, グリーンランドの内陸部と南極大陸に分布する。」と記述されている。)	3-(3)
7	89	14	白い革命①	誤植である。 (側注は「①レグール土 ②白い革命」となっている。)	3-(2)
8	103	図7	キャプション …8000人の以上の…	誤記である。	3-(2)
9	119	3 - 5	…綿花やさとうきびなどの農場の労働力とするためにアフリカから奴隷として連れて来られたため…	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (奴隷として連れてこられた理由について誤解する。)	3-(3)
10	161	13	…である中国…	誤記である。	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

2 枚中 2 枚目

受理番号 27-166		学校 高等学校		教科 地理歴史		種目 地理A		学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準			
	ページ	行						
11	176	図5	日本の台風・大雨による災害発生件数	生徒が誤解するおそれのある図である。 (集計の基準が同一であるかのように誤解する。)	3-(3)			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-167		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 地理A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	32	囲み	NOTE (変動帯と造山帯) 変動帯の中で高い山脈が形成される地帯を造山帯とよぶ。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (造山帯が高い山脈が形成される地帯と一致するかのように誤解する。)	3-(3)
2	74	1 - 2	第二次世界大戦後、朝鮮半島は日本の占領から解放された。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (小見出しのタイトルに照らして誤解する。)	3-(3)
3	162	図 1	地形図 192ページ図 1 地形図及び地勢図	地形図及び地勢図に、学習上必要な図葉名及び修正等の年次が示されていない。	2-(10)
4	184	図 3	名古屋市内のハザードマップ	生徒が誤解するおそれのある図である。 (縮尺が1万3千分の1であるかのように誤解する。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-172		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 地理A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	表見返 1		グリーンランドの白色塗色	生徒にとって理解し難い図である。 (白色塗色が何を示すか理解し難い。)	3-(3)	
2	12	図2	大使館や領事館の敷地は、その設置国の法律が適用される。つまり、日本に存在するものの、原則として日本の法律の効力がおよばない特殊な区域である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本の法律の適用範囲とその効力について誤解する。)	3-(3)	
3	13	3 - 4	韓国との間には竹島(島根県)の領有権問題をかかえている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (竹島の現状について、理解し難い。)	3-(3)	
4	13	4 - 5	尖閣諸島(沖縄県)は中国や台湾当局が領有権を主張している。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (尖閣諸島に領有権問題があるかのように誤解する。)	3-(3)	
5	14	図1	14ページ 図 ベルリンの壁崩壊前のベルリン市内 200ページ 図6 手取川流域に存在	生徒が誤解するおそれのある地図である。 (方位や縮尺を誤解する。)	3-(3)	
			する「村囲い堤」			
6	17	下右	「GEO TOPIC 羽田空港のハブ空港化」の中の地図「アメリカ合衆国等の塗色」	生徒にとって理解し難い図である。 (緑色塗色が何を示すか理解し難い。)	3-(3)	
7	27	12	造山帯に対して、先カンブリア時代にできた陸地を安定陸塊(図4 5)という	生徒にとって理解し難い表現である。 (図5の安定陸塊の形成期に示された「造山帯の形成期」と照らして、理解し難い。)	3-(3)	
8	35	図	2万5千分の1地形図(丸亀, 香川県) 5万分の1地形図(丸亀, 香川県)	地形図に、学習上必要な修正年次が示されていない。	2-(10)	
9	67	図15	省別GDP	生徒が誤解するおそれのある図である。 (全ての統計単位が「省」であるかのように誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 27-172		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 地理A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
10	116	5 - 7	17世紀以降、南部の綿花プランテーションなどの労働力として、アフリカから多くの奴隷が連れてこられた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (綿花プランテーションの労働者として奴隷が連れてこられたかのように誤解する。)	3-(3)
11	151	囲み	東シナ海ガス田のように、領土問題と絡んだ日中間の政治問題が生じている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「領土問題」が存在するかのように誤解する。)	3-(3)
12	156	図9	ロッキー山脈の氷河の後退	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (撮影季節を誤解する。)	3-(3)
13	171	図3	地形図で見る広島市の変遷	地形図に、学習上必要な図葉名が示されていない。	2-(10)
14	182 - 189		2 自然災害に備えた暮らし	生徒にとって理解し難い表現である。 (関係機関が連携した防災への取組について、理解し難い。)	3-(3)
15	201	図9	白と黒の旗竿型の線 赤点線	生徒が理解し難い地図である。 (各表記が何を表現しているか示されていない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-201		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 地理A	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	9	2 - 3	大圏航路… (…同一緯度上では直線になる)。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「同一緯度上」)	3-(3)
2	15	図⑤	その他 (20.1%) 15ページ図⑦ その他 (20.1%)	生徒にとって理解し難いグラフである。 (同ページ表③に照らして, 20.1%は誤りである。)	3-(3)
3	30	脚注②	過去数十万年間に動いた断層のこと。	生徒にとって理解し難い表現である。 (活断層の解説)	3-(3)
4	125	3 - 5	…綿花を栽培するプランテーションの労働力として, アフリカから大勢の人々が連れてこられた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (連れてこられた目的について誤解する。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 27-84		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 地理B	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	巻頭2	図7	人工島の建設	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (バーム・ジュメイラのみによって海岸線が500km以上長くなったかのように誤解する。)	3-(3)
2	8	図1	大陸から日本を見た「環日本海・東アジア諸国図」	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (読図「大陸から見た日本の位置に着目しよう。」の記述に照らして、生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。)	2-(13)
3	61	図5	バオバブ 「マダガスガル島」 270ページ図2 北アフリカとサハラ以南のアフリカの自然環境	相互に矛盾している。	3-(1)
			「マダガスカル島」		
4	109	用語解説1	大陸棚	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (記述されている大陸棚の指し示す内容について、全てが国連海洋法条約に基づくものであるかのように誤解する。)	3-(3)
5	144	9 - 10	1990年代における東西冷戦の終結と、 … 278ページ9～10行目 1989年に冷戦は終わり、…	相互に矛盾している。	3-(1)
6	156	側注1	フランスでは、1936年より、法律で5週間の有給休暇の権利が認められており、…	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (フランスにおいて1936年に5週間の有給休暇が制度化されたかのように誤解する。)	3-(3)
7	172	用語解説1	家族計画 発展途上国では、多産多死の傾向によって人口が急増したため、… 178ページ図1の人口転換モデルの「自	相互に矛盾している。	3-(1)
			然増加率」		
8	176	図3	都道府県別の老年人口の割合 老年人口の割合(国・地域別)	生徒にとって理解し難い表現である。 (図のタイトルに照らして「国・地域別」が理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 27-84		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 地理B	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
9	219	19 - 22	アメリカ合衆国という超大国の意向が国連の決議よりも強い力をもつ現状は、パレスチナ問題だけでなく、世界の安全保障にとって障害となっている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (国際情勢の現状について理解し難い。)	3-(3)
10	326 - 329		2節 日本の抱える課題の追究	学習指導要領に示す内容に照らして扱いが不適切である。 (内容(3)のウ「現代世界と日本」の「…その解決の方向性や将来の国土の在り方などについて展望させる。」について扱いが不十分である。)	2-(1)
11	328	図4	想定震度分布	生徒にとって理解し難い図である。 (橙色の塗色が何を指すか示されていない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-85		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 地理B	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	16	図1	さけとぶり	誤りである。 (さけとぶりの分布)	3-(1)
2	16	図2	自動車及び反物の記号 16ページ 図3の青矢印	生徒にとって理解し難い地図である。 (各国・地域のデータの表現が理解し難い。)	3-(3)
3	57	図4	「気象衛星画像と大気動き」の中の赤道付近の黒破線	生徒にとって理解し難い図である。 (黒破線が何を表すか理解し難い。)	3-(3)
4	65	1 - 2 右	判定③ 最暖月の平均気温の値	生徒にとって理解し難い表現である。 (65ページ表2「判定③ 最寒月平均気温」に照らして理解し難い。)	3-(3)
5	139	グラフ 2	日本の地域別にみた訪日外国人旅行者の出発地割合	生徒にとって理解し難いグラフである。 (訪日外国人旅行者の出発地割合のデータ)	3-(3)
6	178	4	島々の帰属をめぐって、ロシア・韓国・中国と主張が対立している。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (中国との間に、ロシアや韓国と同様の帰属をめぐる対立があるかのように誤解する。)	3-(3)
7	189	図4	中国の省別の外国企業投資額の推移	生徒が誤解するおそれのある地図である。 (全ての統計単位が「省別」であるかのように誤解する。)	3-(3)
8	239	図4	凡例の「BT(砂漠気候)」 239ページ図6のカイロの雨温図「カイロ(BW)」	相互に矛盾している。	3-(1)
9	273	15 - 17	17世紀以降、多数のアフリカ出身者が南部のプランテーションに奴隷として連れてこられた。奴隷貿易は南北戦争が終結する1865年まで続いた。	生徒にとって理解し難い表現である。 (奴隷貿易の時期、及びその目的について、理解し難い。)	3-(3)
10	301	図5	カルガリー及びバンクーバー付近の緑色の実線	生徒にとって理解し難い表現である。 (緑色の実線が何を示すか理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 27-86		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 地図	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	3	図3	五大陸と三大洋 「アコンカグア山 6960m」 65ページ 南アメリカ 「アコンカグア山 6959」	相互に矛盾している。	3-(1)
2	8	中央	世界の国々基本データ(1) インド 人口 「126,740.2万」 8ページ中央 世界の国々基本データ	相互に矛盾している。	3-(1)
			(1) インド 概要 人口約11億をかかえ、…		
3	8	右上	世界の国々基本データ(1) カタール国	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (カタール国がOPECの加盟国ではないかのように誤解する。)	3-(3)
4	9	左上	世界の国々基本データ(2) 中華人民共和国	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (中華人民共和国がG8の構成国であるかのように誤解する。)	3-(3)
5	12	左	世界の国々基本データ(5) フランス共和国	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (フランス共和国がG8の構成国ではないかのように誤解する。)	3-(3)
6	17		東アジア 香港	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (香港について5ページの凡例と照らしあわせ、州都又は省都のいずれかに該当するかのように誤解する。)	3-(3)
7	32	図2	パレスチナ問題 第3次中東戦争(1948～49年)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (第3次中東戦争が1948～49年に発生していたかのように誤解する。)	3-(3)
8	74 - 75		函館付近、甲府付近及び福井付近の破線 95ページ、96ページ 相模原付近の破線	生徒にとって理解し難い表現である。 (図に示されている破線の指し示すものについて理解し難い。)	3-(3)
9	76	図1	気候(1月) 「最低気温 -41.5℃」 128ページ右上 日本に関する極値 「最低気温 -41.0℃」	相互に矛盾している。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 27-86		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 地図	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
			76ページ 図2気候(8月) 「最高気温 42.5℃」 128ページ右上 日本に関する極値 「最高気温 41.0℃」		
10	97	図	関東中央部 石岡周辺 玉里(たまさと)	誤記である。 (「たまさと」)	3-(2)
11	99	図1	東京オリンピック2020開催予定地 35宮城スタジアム	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (宮城スタジアムが仙台市にあるかのように誤解する。)	3-(3)
12	106	図3	合計特殊出生率 119ページ図3	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (合計特殊出生率の単位について誤解する。)	3-(3)
13	125	図2	日本のおもなレアメタルの輸入先 マンガン	生徒にとって理解し難い図である。 (総輸入に対する当該国の割合について理解し難い。)	3-(3)
14	126	グラフ b	自動車の生産	生徒にとって理解し難いグラフである。 (左側縦軸の数値について8と16の間に2があることについて理解し難い。)	3-(3)
15	127	図4	日本の貿易 イギリス, オランダ, フランス, ドイツ及びイタリア	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本との貿易総額について誤解する。)	3-(3)
16	128	左上	山の高さとの海の深度 ジャヤ山 5030m (オセアニア・ニューギニア島) 3ページ図3 五大大陸と三大洋の「オセ	相互に矛盾している。	3-(1)
			アニア」		
17	135	図7	自主財源の割合	生徒が誤解するおそれのある表である。 (自主財源の割合が上位と示された5県が、47都道府県における自主財源の割合が上位の5県と一致するかのよう誤解する。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 27-86		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 地図	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
18	137	左下	授賞式会場 …イギリス… …イグノーベル賞	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (イグノーベル賞の授賞式会場がイギリスにあるかのように誤解する。)	3-(3)
19	138	右下	サミット開催地 ランブイエ… …ロンドン会議…	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ランブイエを開催地とするサミットの名称が、ロンドン会議であるかのように誤解する。)	3-(3)
20	148	表	地質時代の区分と特徴	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (新生代の時代区分について誤解する。)	3-(3)
21	151	図	西之島 (電子地形図25000「西之島」)	電子地形図の調製時期として学習上必要な月が示されていない。	2-(10)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 27-87		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 地図	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	3	図3	五大陸と三大洋 「アコンカグア山 6959m」 93ページ 太平洋・インド洋 「アコンカグア山 6960」	相互に矛盾している。	3-(1)	
2	6	右下	おもな港湾のコンテナ取扱量	生徒が誤解するおそれのある表である。 (「世界計」の値について全てが同一の基準によるものであるかのように誤解する。)	3-(3)	
3	11	図5	三角洲(デルタ)(広島市) (1:14.8万…)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (引用した原資料の地形図又は地勢図の縮尺が14.8万分1であるかのように誤解する。)	3-(3)	
4	23		東アジア 香港	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (香港について5ページの凡例と照らしあわせ、州都又は省都のいずれかに該当するかのように誤解する。)	3-(3)	
5	29	図10	外国自動車メーカーの工場分布 30ページ図1及び図2	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての対象が省であるかのように誤解する。)	3-(3)	
6	31	図1 図2	世界各国の対中貿易(輸入)	生徒が誤解するおそれのある図である。 (全ての対象が国であるかのように誤解する。)	3-(3)	
7	31	図3 図4	中国の輸出額・輸出相手国・輸出品目の推移 香港	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (香港が国であるかのように誤解する。)	3-(3)	
8	42	図4	インドのIT産業 スリナガル周辺	生徒にとって理解し難い図である。 (スリナガル周辺の塗色について何を指すか示されていない。)	3-(3)	
9	51	図4	紛争と難民 国内難民	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (本図で用いられている国内難民について、133ページ図3で用いられている難民と照らして、同一のものを指すかのように誤解する。)	3-(3)	
10	51	図4	紛争と難民(難民流出数) 69ページ図10	生徒にとって理解し難い表現である。 (流線図における数値表現について理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-87		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 地図	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	100 - 101		函館付近, 甲府付近及び福井付近の破線 121ページ, 122ページ 相模原付近の破線	生徒にとって理解し難い図である。 (図に示されている破線の指し示すものについて理解し難い。)	3-(3)	
12	123	図	関東中央部 石岡周辺 玉里 (たまさと)	誤記である。 (「たまさと」)	3-(2)	
13	125	図 1	東京オリンピック2020開催予定地 35宮城スタジアム	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (宮城スタジアムが仙台市にあるかのように誤解する。)	3-(3)	
14	130	図 3	合計特殊出生率 143ページ図 4	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (合計特殊出生率の単位について誤解する。)	3-(3)	
15	131	図 1 1	集落の形態と発達	地形図に, 学習上必要な修正等の年次が示されていない。	2-(10)	
16	137	図 2	日本のおもなレアメタルの輸入先 マンガン	生徒にとって理解し難い図である。 (総輸入量に対する当該国の割合について理解し難い。)	3-(3)	
17	144	図 1	火山 岩手山周辺	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (岩手山周辺の火山の種類について誤解する。)	3-(3)	
18	144	図 5	西之島 (電子地形図25000「西之島」)	電子地形図の調製時期として学習上必要な月が示されていない。	2-(10)	
19	145	図 1	気候(1月) 「最低気温 -41.5℃」 148ページ右上 日本に関する極値 「最低気温 -41.0℃」	相互に矛盾している。	3-(1)	
			145ページ 図2気候(8月) 「最高気温 42.5℃」 148ページ右上 日本に関する極値 「最高気温 41.0℃」			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 27-87		学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 地図	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
20	145	図 6	東北太平洋沖地震の震度分布	生徒にとって理解し難い表現である。 (東日本大震災をもたらした地震の震度分布の図として理解し難い。)	3-(3)
21	145	図 7	津波の被害 (岩手県南三陸町, …)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (南三陸町を含む県について誤解する。)	3-(3)
22	146	図 6	日本の貿易 イギリス, オランダ, フランス, ドイツ及びイタリア	生徒が誤解するおそれのある図である。 (日本との貿易総額について誤解する。)	3-(3)
23	148	左上	山の高さと海の深度 ジャヤ山 5030m (オセアニア・ニューギニア島) 3ページ図3 五大陸と三大洋の「オセアニア」	相互に矛盾している。	3-(1)
24	152		世界の国一覧 バチカン市国	生徒が誤解するおそれのある表である。 (バチカン市国の面積が0.44千平方キロメートルであるかのように誤解する。)	3-(3)
25	154	表 2	人口の少ない国 バチカン市国	生徒が誤解するおそれのある表である。 (バチカン市国の人口について799万人であるかのように誤解する。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-88	学校 高等学校	教科 地理歴史	種目 地図	学年
------------	---------	---------	-------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	133	図1	拡大が認められた大陸棚	生徒にとって理解し難い地図である。 (どの様に「認められた」のか理解し難い。)	3-(3)
2	134	図b	竹島周辺の地理的状況 134ページ 図c 東シナ海の状況	生徒が誤解するおそれのある地図である。 (方位について誤解する。)	3-(3)
3	134	図c	中国が主張する領海線	生徒が誤解するおそれのある図である。 (中国が東シナ海に「領海」を主張しているかのよ うに誤解する。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。